

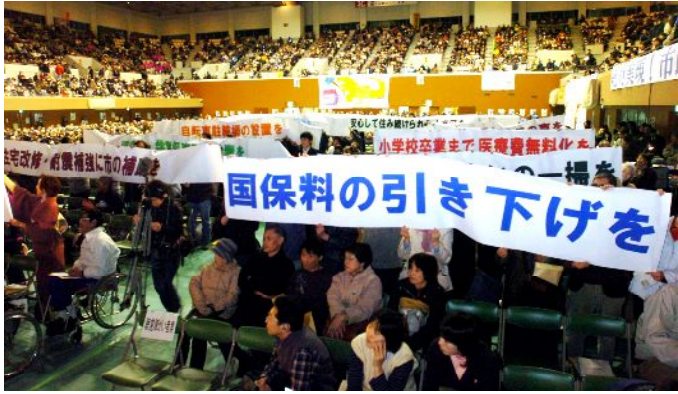


こんにちは 府會議員

# さこ祐仁

活動報告

2008年1月27日発行 No.54  
千本出水下る十四軒町392  
さこ祐仁事務所  
Tel.075-813-2117



写真(上)好評だった、市民大集会での上京区要求パフォーマンス。私も一緒に持ちました。

## ◎さこ駆け歩き

19日(土)

北・上「医療、介護、福祉、社会保障を守る」市民のつどいが162人の参加で成功しました。北区で唯一の公的病院・総合病院社会保険京都病院(旧鞍馬口病院)は、年間16万人の通院患者、延べ10万人の入院患者を診ています。公的病院の果たしている役割を改めて感じました。しかし、赤字だからと効率優先のもとに統廃合・売却されようとしています。一つの病院がなくなることで地域への大きな影響が出ることはこの間の医師・看護師不足でハッキリしているのではないかと憤りを覚えました。開業医の先生が「医療に税金を使う医療政策に変える。つまり、いまの国の政治を変えなければならない」と明確に言い切って、会場から大きな拍手が起きました。

このつどいの案内に、くらす市議と15軒の開業医訪問をしました。忙しい中でも丁寧に対応してくれるかたが多く「薬害肝炎の問題で、なぜ厚生労働省の役人は罰せられないのか?医師がミスすれば、徹底してバッシングされる」「後期高齢者医療制度、私たち医師に4日間の講義をするというが、その間患者さんはどうなる、国は何を考えているのか」と怒りの声が寄せられました。また「社会保障の充実と共産党さんは言うが財源はどうされるのか?」と率直な疑問も出されました。軍事費の問題、京都市内の高速道路のことなど話すと納得され、「中村マニフェストも見さしてもらいます」と。断られたのは1軒だけでした。

**2月3日告示、17日投票の京都市長選挙は、命とくらしのかかった大切な選挙、勝利のチャンスです。日本共産党は、国政でも京都市政でも「生活第一」の新しい政治をつくるために、全力でがんばります。**

いよいよ京都市長選挙まで1ヶ月をきりました。マスコミも(大阪・熊本)の両知事選・京都市長選は、「一連の首長選の結果は、(国会での)与野党攻防にも影響する」と書く、全国注目の選挙になっています。

何よりも今度の市長選挙は、京都市民の命とくらしがかかった選挙です。中村和雄さんは、国保料をまず一世帯あたり1万円引き下げ、国民健康保険証の取り上げをすぐにやめることを提案、「生活第一」の訴えは大きな反響を呼んでいます。

税金のムダづかいと環境破壊の市内高速道路の未着工3路線はストップを、の訴えには、民主・公明が相次いで「凍結・中止」を言い出しています。

それに対して、もと教育長である相手陣営の「相乗り・庁内候補」は、同和運動団体への不当な補助金支出で裁判の「被告」になり、117万円を返還し、市から処分された一人です。しかも、市職員の犯罪・不祥事で断罪された一

方の側である、部落解放同盟が推薦を決めている人物です。また、立候補表明した左京区の無所属市議は記者会見で「与党の一員として5年間やってきた」「(与党と)政策的すりあわせは可能」と言いました。国保料引き上げをはじめとした市民負担増予算、同和奨学金の肩代わりを含む予算に賛成してきた議員です。

市長選挙の争点は、「くらし破壊と同和いなり」の現市政継続か「生活第一、同和特別扱いを断ち切る改革・刷新」か、ハッキリしていません。わたくし、さこ祐仁も生活第一の新しい市政をつくるために、先頭に立って奮闘する決意です。

### 商店街訪問に反響。飛び込めば変化は起こせる。

中村和雄さんの推薦と原油高騰問題で、上京区の商店街を訪問しました。日本共産党の府会・市会議員が訪問してきたとビックリされる商店主もありました。また、いつもは反応の返ってこない商店街も「理事会でどうなるかわ

かりませんが」と言いながらも、申し入れは受け取ってくれました。

大型店の出店や重油の高騰に困っているという昆布屋さんは、「地元のお客さんは少ない。以前は遠くからもきてくれたが、お客さんも高齢化でこれなくなっている。若い人は車で買い物できる大型店に行っている。昔、蛸川さんが知事をやっているときはスーパー出店を規制していた、地元商店街を守ってくれて偉かったと思う。船の重油の高騰や高齢化などもあって、海苔や昆布を獲る人が減り、輸入品に頼っている状況だ」と話してくれました。

ある商店街は「顧問が自民党の議員なので推薦はできないが、共産党は筋を通すのでよいと思っている」と話してくれました。商店街の振興について日本共産党が組合に来るのは何年ぶりやと言われるお店もあり、やはり私たち議員が先頭に立って切り開けば、変化は起こることを実感しました。